

科目名		Web技術基礎					年度	2024
英語科目名		Web technology basics					学期	前期
学科・学年		A I システム科 1 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2
担当教員		黛 宏明		教員の実務経験		有	実務経験の職種	
【科目の目的】								
Web技術は現代のデジタル社会に深く浸透しており、Webの基本的な仕組みやプロトコル、ネットワーク通信の原則、ウェブサイトの作成方法、サーバーサイドアプリケーション開発方法を理解することは大変重要である。この科目では、Web技術を通じてAIシステムの開発の成果を製品やサービスとしてアウトプットする手段を身に付けることを目的とする。								
【科目の概要】								
この科目では以下のような内容を扱う。 ・インターネットとWebシステムの歴史と構成要素 ・クライアントサーバーシステムの定義 ・ネットワーク技術と通信プロトコル ・HTMLによるWebページの作成 ・CSSによるWebページの整形 ・サーバーサイドプログラミング								
【到達目標】								
この科目では以下のスキルを身に着けることを目標とする。 ・インターネットとWebシステムの構成要素を挙げ、クライアントサーバーシステムの定義を説明することができる ・Web技術で利用されるネットワーク技術と通信プロトコルを説明することができる ・HTMLとCSSを利用したWebページを作成することができる ・PHPやPythonを用いたサーバーサイドのアプリケーションを作成することができる ・その時々に応じた開発環境や実行環境をみずから構築することができる								
【授業の注意点】								
この講座では、これ以降に実施されるWebシステム系の授業の前提となる内容を扱っている。教員が示した通りにプログラムを作成・実行できるのみならず、技術的な内容をきちんと理解し、みずから創意工夫してプログラミングできるようにならなければならない。誠実に授業に出席するのはもちろん、積極的に授業や課題に取り組み、理解できない部分が残らないようにすること。								
評価基準＝ルーブリック								
ルーブリック 評価	レベル11 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力			
到達目標 A	インターネットやWebシステムの構成要素を挙げ、クライアントサーバーシステムをエンジニアの観点から説明することができる	インターネットやWebシステムの構成要素を挙げ、実例を交えて説明することができる	インターネットやWebシステムの構成要素を挙げ、それぞれを説明することができる。	インターネットやWebシステムの構成要素を挙げることではできるが、それぞれを説明することができない。	インターネットやWebシステムの構成要素を挙げることができない			
到達目標 B	ネットワーク技術と通信プロトコルについて、クライアントサーバーシステムをエンジニアの観点から説明することができる。	ネットワーク技術と通信プロトコルについて、実例を交えて説明することができる。	ネットワーク技術と通信プロトコルについて説明することができる。	ネットワーク技術と通信プロトコルについて断片的にしか説明することができない。	ネットワーク技術と通信プロトコルについて説明することができない。			
到達目標 C	HTMLとCSSを利用したWebページを自分でアレンジしながら作成し、公開することができる。	HTMLとCSSを利用したWebページを自分でアレンジしながら作成することができる。	HTMLとCSSを利用したWebページを作成することができる。	HTMLとCSSを利用したWebページを見よう見まねで作成することができる。	HTMLとCSSを利用したWebページを作成することができない。			
到達目標 D	サーバーサイドのアプリケーションを自分でアレンジしながら作成し、公開することができる。	サーバーサイドのアプリケーションを自分でアレンジしながら作成することができる。	サーバーサイドのアプリケーションを作成することができる。	サーバーサイドのアプリケーションを見よう見まねで作成することができる。	サーバーサイドのアプリケーションを作成することができない。			
到達目標 E	開発環境や実行環境を自らの判断で構築でき、環境ごとのメソッドデリットを説明することができる。	開発環境や実行環境を自らの判断で構築でき、自分の好き嫌いを述べることができる。	開発環境や実行環境を自らの判断で構築することができる。	開発環境や実行環境を教員の指導の下で構築することができる。	開発環境や実行環境をみずから構築することができない。			
日本工学院専門学校ITカレッジ作成資料								
【参考資料】								
推奨図書を授業内で提示する								
【成績の評価方法・評価基準】								
以下の事項を総合的に評価する。・課題の提出状況、課題から判断する授業理解度、授業出席率、授業への参加態度								
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。								

備考等